

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和4年1月21日(2022.1.21)

【公開番号】特開2021-16669(P2021-16669A)
 【公開日】令和3年2月15日(2021.2.15)
 【年通号数】公開・登録公報2021-007
 【出願番号】特願2019-135132(P2019-135132)
 【国際特許分類】
 A 6 3 F 7/02(2006.01)
 【F I】
 A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】
 【提出日】令和4年1月13日(2022.1.13)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
 【請求項1】

始動条件の成立に基づいて、当りに関する抽選情報を取得し、前記抽選情報に基づいて抽選を実行する抽選手段と、

開始条件の成立に基づいて変動を実行する変動実行手段と、

前記抽選手段による抽選の結果に基づいて、複数の演出の中から演出を決定する演出決定手段と、

前記演出決定手段によって決定された演出を実行する演出実行手段と、

前記演出実行手段によって実行された演出を表示可能な演出表示手段と、

前記始動条件の成立は満たされたものの前記開始条件の成立が満たされなかった場合には、所定数を上限として前記抽選情報を記憶する保留手段と、

30

前記保留手段が記憶した前記抽選情報及び実行中の変動に対応する抽選情報それぞれに対応する保留表示を、前記演出表示手段に表示する保留表示手段と、を備え、

前記演出には、

前記保留表示のうち実行中の変動に対応する抽選情報に対応する保留表示が認識不能にされ該認識不能にされた保留表示を再認識させ、該演出が実行される場合に特定音を出力し、該認識不能にされた保留表示を再認識させるときには該保留表示が認識不能にされる前に表示されていた保留表示の態様とは異なる態様の保留表示となっている第1演出と、

前記保留表示のうち実行中の変動に対応する抽選情報に対応する保留表示が認識不能にされ該認識不能にされた保留表示を再認識させ、該演出が実行される場合に前記特定音を出力することなく、該認識不能にされた保留表示を再認識させるときには該保留表示が認識不能にされる前に表示されていた保留表示の態様と同じ態様の保留表示となっているものの、該保留表示が認識不能にされる前の演出状態とは異なる演出状態に対応した背景を表示する第2演出と、があり、

40

1回の前記変動において前記第1演出と前記第2演出とを実行可能であり、

1回の前記変動において前記第1演出と前記第2演出とを実行する場合、当該1回の変動において実行される前記第2演出の回数よりも当該1回の変動において実行される前記第1演出の回数が増えることを可能とし、

1回の前記変動において前記第1演出と前記第2演出とを実行する場合、当該1回の変動において前記第1演出よりも先に前記第2演出を実行可能であり、

50

1 回の前記変動において前記第 2 演出を実行したあとの前記第 1 演出において前記異なる態様の保留表示となる前に通常背景が表示されており、

1 回の前記変動において前記第 2 演出を実行したあとの前記第 1 演出において前記異なる態様の保留表示となったときに前記通常背景が表示されており、

1 回の前記変動において、前記第 1 演出を実行する回数と前記第 2 演出を実行する回数との和が第 1 の回数である場合と当該第 1 の回数よりも多い第 2 の回数である場合とがあるようになされている

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

始動条件の成立に基づいて、当りに関する抽選情報を取得し、前記抽選情報に基づいて抽選を実行する抽選手段と、

開始条件の成立に基づいて変動を実行する変動実行手段と、

前記抽選手段による抽選の結果に基づいて、複数の演出の中から演出を決定する演出決定手段と、

前記演出決定手段によって決定された演出を実行する演出実行手段と、

前記演出実行手段によって実行された演出を表示可能な演出表示手段と、

前記始動条件の成立は満たされたものの前記開始条件の成立が満たされなかった場合には、所定数を上限として前記抽選情報を記憶する保留手段と、

前記保留手段が記憶した前記抽選情報及び実行中の変動に対応する抽選情報それぞれに対応する保留表示を、前記演出表示手段に表示する保留表示手段と、を備え、

前記演出には、

前記保留表示のうち実行中の変動に対応する抽選情報に対応する保留表示が認識不能にされ該認識不能にされた保留表示を再認識させ、該演出が実行される場合に特定音を出力し、該認識不能にされた保留表示を再認識させるときには該保留表示が認識不能にされる前に表示されていた保留表示の態様とは異なる態様の保留表示となっている第 1 演出と、

前記保留表示のうち実行中の変動に対応する抽選情報に対応する保留表示が認識不能にされ該認識不能にされた保留表示を再認識させ、該演出が実行される場合に前記特定音を出力することなく、該認識不能にされた保留表示を再認識させるときには該保留表示が認識不能にされる前に表示されていた保留表示の態様と同じ態様の保留表示となっているものの、該保留表示が認識不能にされる前の演出状態とは異なる演出状態に対応した背景を表示する第 2 演出と、があり、

1 回の前記変動において前記第 1 演出と前記第 2 演出とを実行可能であり、

1 回の前記変動において前記第 1 演出と前記第 2 演出とを実行する場合、当該 1 回の変動において実行される前記第 2 演出の回数よりも当該 1 回の変動において実行される前記第 1 演出の回数が多くなることを可能とし、

1 回の前記変動において前記第 1 演出と前記第 2 演出とを実行する場合、当該 1 回の変動において前記第 1 演出よりも先に前記第 2 演出を実行可能であり、

1 回の前記変動において前記第 2 演出を実行したあとの前記第 1 演出において前記異なる態様の保留表示となる前に通常背景が表示されており、

1 回の前記変動において前記第 2 演出を実行したあとの前記第 1 演出において前記異なる態様の保留表示となったときに前記通常背景が表示されており、

1 回の前記変動において、前記第 1 演出を実行する回数と前記第 2 演出を実行する回数との和が第 1 の回数である場合と当該第 1 の回数よりも多い第 2 の回数である場合とがあるようになされている

ことを特徴とする遊技機。

10

20

30

40

50

【 手続補正 3 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 0 7

【 補正方法 】 削除

【 補正の内容 】

10

20

30

40

50